

個別最適な学びを実現するためのICTの利活用による指導の充実

～ICTを利活用した一人一人の障害特性に応じた授業づくりの在り方～

千葉県立栄特別支援学校

電話 0476-80-2500

FAX 0476-80-2502



研究のポイント

小・中・高の3つのグループに分かれ、ICTを利活用し、児童生徒一人一人の障害特性に応じた授業づくりの在り方についての実践を進めた。さらに実践内容をICT実践シートにまとめ、各グループ・学校全体での情報共有や意見交換の場を設けることで、学校全体で連携しながら実践を共有し、ICTを利活用した授業づくりの在り方について検討した。

■学校の概要 <https://cms2.chiba-c.ed.jp/sakae-sh/>

平成29年4月に開校し、全校児童生徒数104名でスタートした学校である。8年目となる本年度は、全校児童生徒数181名であり、知的障害及び肢体不自由や視覚障害、聴覚障害等の障害を併せ有する児童生徒が在籍している。開校当初より、地域に根付いた学校を目指し、「『生きる力を育てる』地域力を活かして」という学校目標のもと、児童生徒一人一人が自分の良さを知ることで自信をもち、目の前の困難に負けずに、地域社会の一員として自立し社会参加していくための基盤となる「生きる力」の育成を図っている。

■研究課題

知的障害の特別支援学校における児童生徒一人一人の障害特性に応じた授業づくりの在り方について実践研究を行う。

■研究の目的と方法

【研究の目的】

「ICTの利活用による教育の質の向上」に基づいて、個別最適な学びを実現するためのICT利活用による指導の充実を図る。

【研究の方法】

- (1) 職員へのアンケートを通して「ICT環境」「教職員のICTに関する知識・技術」「活用状況」の現状と課題を整理する。
- (2) 授業実践をICT実践シートにまとめ、それを基に各グループや学校全体での意見交換や情報共有を図る。
- (3) 研修会を実施し、学校全体でのICTに関する知識の向上を図る。
- (4) ICT実践シートを実践事例集としてまとめ、他校の参考となるように学校HPにアップする。

■研究概要

【実践内容】

(1) ICTに関する現状と課題について

各グループでのアンケートから様々な項目において、年度当初よりも学習場面でのICTの利用頻度が向上していることが分かった。理由として、有料アプリ購入や電子黒板導入など、環境面を充実させることで、授業の幅や児童生徒の学習面での理解が深まったと感じている職員が多いことが分かった。

(2) ICT実践シートについて

昨年度から導入したICT実践シートに関して、年度当初に書式の見直しを行った。主な修正点として児童生徒の学習の様子についての記述欄を細かく設定し追加したことで、障害特性に応じた手立ての効果が分かりやすくなった。

(3) 研修会の実施について

情報分掌と連携した校内研修会や外部講師を招いての全校研修会を実施し、ICT機器の使い方やアプリの紹介、ICT実践シートの記載方法について学校全体で共有することで、ICTを利活用した授業づくりの改善に繋げることができた。

(4) 実践共有・意見交換会について

各学部で進めてきた実践について、ICT実践シートを用いて全校で共有する場を設けた。他グループの実践を共有し、それを各グループで話し合うことで、障害特性に応じた実践方法や、有効なツール、アプリについて共有したり、授業づくりの改善に繋げたりすることができた。

【成果】

- (1) ICT実践シートによって児童生徒の学習の様子についての記録の蓄積、実践の共有をすることができた。
- (2) ICT機器に対しての職員、児童生徒の意識を、学習の場面で使用する当たり前の道具という認識に変えていくことができた。
- (3) 小・中・高の各グループに重複学級の職員を加えることで、重複学級の特徴である『個別最適な学び』の視点を取り入れた実践を進めることができた。

【今後の展望】

研究成果で得られた知見を生かし、ICTを利活用した『個別最適な学び』の質を高めていく。さらに、これまで作成してきたICT実践シートを基に実践事例集をまとめ、外部へ公開する。

関連資料

- ・千葉県学校情報化推進計画 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/giga/jouhoukeikaku.html>
- ・第3次千葉県特別支援教育推進基本計画

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shien/tokubetsushien/dai3ji-suishinkihonkeikaku.html>